夕刊 磐城時報

十日發行

福島縣平市紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣平市紺屋町十四 印刷所 磐城時報社
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

內郷、好間商店が 平組合から分離運動

青沼市長に阻止運動陳情

磐城炭礦を持つ石城郡內郷村、古河炭礦を持つ好間村の各種商工業者は現在平商業組合、工業組合の聯合會の統制下にあるが最近兩村の商業者は物資の配給不圓滑と運賃制當等に不滿を懷き所屬組合から分離しそれ新たに地區別商業組合を結成すべく實現運動を開始してゐるが、永年磐城、古河炭礦との商取引を行つて來た平商人側は兩村の分離が若し認めらるゝやうなことがあれば當然兩炭礦との商取引から手を引かねばならず、この兩炭坑の大需用者を失つては一大打擊であると大いに狼狽し兩村の分離要求は自由經濟時代の需用者獲得の運動であると全面的に反對を決議し青沼平市長に對しても兩村の分離阻止運動を要請したので平市長は九日出縣縣當局に對し兩村の商業者は現在のまゝ平商業組合の傘下に統制して置かれるやう陳情を行つた。これに對し縣は如何なる裁斷を下すか地方經濟界の重大問題だけに成行注目されてゐる。

石炭を送ると稱し 六千圓を詐取

高橋秀松檢擧さる

平市鍛冶町居住東京市麹町區九段四の二生れ高橋秀松(四七)は本年一月から內郷村大字宮字鬼ヶ澤日高見鑛業炭礦の斤先掘を經營してゐたが資金に不足を來し去る四月一日東京市世田ヶ谷區二ノ一三〇七日本化工興業商會大畠甚饑氏に一ヶ月石炭六十トンしか出ぬのに每月二百トン宛を送ると欺いて手付金五千圓を騙取した外列車內で知り合つた青森市長崎町二寺田キヌさんから同樣手段で千圓を捲き上げた事發覺、十日平署に檢擧された

鑛區賣買で 一万圓横領

內郷村宮涌井常吉さん(五二)並に同郡川邊村瀨戸農坂本太平治さん(三七)は川邊村兒玉地內に石炭鑛區約十万坪を共同所有してゐたが、坂本は去る七月中鑛區を茨城縣磯原町土屋七郎氏(四一)に三万三千五百圓で賣却したにも拘らず二萬圓できり賣れなかつたと涌井に一万圓を渡したゞけで殘金を横領したと平檢事局に告訴、植田署で關係者を取調べ中

坂本は二万圓を二人で分け殘金は仲介人に謝禮をしたと言つてゐる

青年團 選手豫選

青年體育上體位の向上を目的として每年明治神宮全國青年運動會に出場すべき本部各町村青年團の選手擢豫選會は八日小名濱校庭に於て執行、其結果左の如き優勝順位を決定したが、來る十五日縣下青年大會に出場すべき豫選である丈に意氣込み旺んなものがあつた

▼陸上大浦、湯本、好間▼劍道小名濱、勿來、大野▼柔道小名濱、勿來、植田▼銃劍道班第一位小名濱、湯本、江名▼相撲第一位小名濱、湯本、好間▼手榴彈距離第一位小名濱、內郷、好間▼走巾跳第一位湯本、好間、小名濱▼二千米團体走大浦、磐崎、江名▼重量運搬繼走第一位大浦、江名、勿來▼八百米繼走湯本、好間、植田

平實業會生る

役員の顔ぶれ決定

既報、平市商工界の猪狩庄平、阿部政右衛門、永山勇吉、猪狩四郎、松本德一等の諸氏は新經濟體制即應の進路を求むべく同志を集めて經濟研究會を結成することになり會員募集中四十二名となつたので七日常陽銀行平支店樓上で發會式を擧行左の如く役員を決定、今後每月例會を開き自治經濟の研究をなすほか年に四、五回中央から大家を招き時局政治經濟問題に關する講演會を開いて相互の知識向上をはかり地方商工業の發展に努力することになつた

幹事長永山勇吉、會計當保平、幹事長島菊苗、横山彰介、山野淺義政、猪狩四郎、瀧田豊、堀井新太郎、正木昌次郎、顧問猪狩庄平、阿部政右衛門、五十嵐小平、酒井猶次、松本德一

發狂した妻に 就寢中斬らる

石城郡大野村字駒上楢原吉田壽次郎(三三)は妻しづえ(二九)と九日午前零時頃就寢中しづえは突然精神に異狀を來し庖丁で夫の前頭部、左肩等に斬付け全治二十日の傷を負はせた

小學教員 檢定試驗

本縣小學校教員、幼稚園保姆試驗檢定は來月二十二日から五日間平第三小學校で行ふが、願書締切は十月五日

縣參一行 會計檢查

縣參事會員一行の今年度會計檢査は十日平市集合、十一日より甲、乙二班に別れ左記日割で執行する、

(甲班) 大竹、高野、星、加藤、大木、十一日平警察署、夏井川改修事務所、十二日磐城中學校、平保險所、十三日植田警察署、水產講習所、十四日江名港修築事務所、十五日四倉警察署

(乙班) 唐橋、志賀、赤津、金子、川田、十一日平土木監督所、平稅務出張所、十二日磐城高等女學校、鑛業取締所平支所、十三日水產試驗場、十四日回春園、十五日四倉港修築事務所

青物商 組合組織

四倉署管內青物商は一日一丸と成りて四倉青物同業組合を組織し役員の左の通り決定した

組合長菅波寅次郎(四倉)會計吉田周太(四倉)評議員鈴木松吉(四倉)須藤淺之助(四倉)鈴木長詩(久之濱)箱崎忠衛(大浦)組合員西山東二(大浦)外八名である

八月分 砂糖配給

四倉町に於ける八月分の第二回家庭用砂糖配給は今十四日より十三日まで四日間に亘りて行なふが、一人當四十匁である

五十圓寄附

湯本町傾城町議大和田主馬造さん妻サキさんは十日同町の自動車ポンプ購入費に五十圓を寄附した

立澤所長 奧羽行脚

立澤平職業紹介所長が地方各炭礦、漁業及び土木方面に於ける要員數千名を充足の爲各炭礦勞務係員と共に東北六縣廳と主要紹介所に人手狩り出し行脚に出掛けたが、當面の勞務資源を緩和するには前記普通の方法による募集以外物資統制から營業原料入手の途が絕え、轉廢業を余儀なくされてゐる一部階層を之に轉向せしむるは所要の人員を得るに非常に便宜な許りでなく其らの生活を甦生に導く所以であり全く一石二鳥の社會政策的方法なので地元では周圍の思惑を顧慮し勇敢にその決心をなし兼ねる向が多い見込みの下に地元の該當者は之を中央その他方面に斡旋しこれと事情を同じうする階級を他縣から招致して彼此全面的に勞務資源を緩和する方針であると

市內四校で 農具購入

節米運動の手近な實踐として市內四小學校兒童の手により過般來夫々實行中の蕎麥栽培は根が植ゑ付け以外施肥その他の手數を要せず僅かに除草する位の處で漸次發育を樂しんでゐるが、大体來月中旬頃第一回の收穫が出來る豫定で最初の事であり收量の見込みはつかぬが右は取纏めて縣が買ひ受くる事になつてゐるのでその賣り上げにより差當り必要な農具等を購入し引續きこれを奬勵する方針であると

暴風雨被害

七日朝からの颱風の余波をうけ小名濱港護岸防波堤約六十米ほか數ケ所が激浪にたゝかれ決潰した、損害一万余圓、平土木監督所小名濱出張所では復舊工事を急ぐ筈。

農村文化の行方 (二)

S O 生

そうしてもう一つは、農村人口の次第の增加にしたがつて、耕作地面積の不足による農民同志間の隣々の葛藤は、時とすると地主に對し思ひもよらぬ仲間の惡口を告口し、それが丹精こめて耕作してゐる田地を取上げさして、代りにひそかに自分が借受けると云つた相當手の入つた芝居を演じさしたり、それでなくとも兎角地主資本家には阿諛追從したい氣持一つぱいの彼等である。農民は自分が直接にぶつかつた問題には習慣的にも何うやらの判斷を下し、それを實際問題として處理して行つても、そういふ已自身を客觀的に觀てとることが出來ないのである。自己と對立する物のみを眺めて、自己と對象物とを統一的に把握するといふ立場にたてないことが、云はゞ彼等の純眞素朴性でもあり、また反面自己が立向ふその現實よりほかには何ういふ余地も世界も殘されてゐない、立向ふそのことが生きることだといふ絕體面の上の出來事である以上、直接的なそれを利己的に効果あらしめんとする意味に於て、意外に狡猾な面ともならうものなのだ

今年の田植時など、例の雨量不足で容易に田植がはかどらず、無論、斯うした場合を考慮して、村には用水池などの設備もあるのだが、これを出しきつてしまつた後に雨が降らないでは農民の生命たる稻作を徒らに枯死させるよりほかに仕方なく、先づ定石として田植までは自然的な雨水の潤澤により、それ以後は必用に應じて除々に用水池の水でもつて田をうるほして行くといふのが安全な方策なのだが、今年などのやうにいくら農民擧つての雨乞ひの行事も何も効果空しく、萬策盡きて用水池の水を田植時に流出させるより仕方がなかつた場合など、それこそ一滴の水をあらそつて農民は不眠不休の活動なのである。谷間の用水池に近い上手の田から順次下手の田に巡りめぐつてくるゆるやかな水を中にして、血相さい鬪格が演じられるのも決して珍らしいことではないし、また考へてみればそれに身一つの生き方をしてゐる彼等としては無理もない所業のやうにもおもはれる。

○

ところで、さうした中の農民——特に青年層は一体どんな感慨で生活してゐるのだらうかであるが、遺憾乍らこゝでもあまり氣力ある生活意欲に燃立つてゐるとは斷じきれない。無論最近徹底してきた青年の集團的訓練や統一の上では、農村は都會地のそれに比較して割合堅實な成績を擧げてゐるといはれるのかもしれない。が、遺憾なのはさうした團体的な秩序とか統一組織とかいふものが、その一人々々の生活にどの程度の活力と秩序をもたらしてゐるかを考へる時、それは今の農村青年が一昔前の農村青年に比較して本質的にどれだけの向上と發展を得てゐるかに思ひ合はすれば、諒解は下されよう。語らずして暗默の統一確立が成つて、その下に集る『個』の向上發展が容易に見出されないといふ矛盾は一体どこに由因してゐるのだらうか？

高 洋服 高島屋

商業界に開始された 商業報國運動

（三）　平賡告研究會月報から

2、配給機構の自主的な革新斷行
イ、全配給業者一般の組織化の必要
ロ、商品不足による從來の機構の存續困難
ハ、所定の物資を所定の方向に的確に配給する必要（適正配給特に生活必需品消費を確保する必要）
ニ、物價統制に順應する組織の必要（協定價格）
ホ、配給過程に於けるコストの增大防止の必要（低物價政策）
ヘ、公益商業としての商業經營の安定確保の必要（適正配給の最良機關）
ト、商業全体の方向歸一の必用（全体協力）
2、自主性の必用
イ、商業者排除の傾向打破の必用（商業者の役割の重大化の認識）
ロ、當局に正しい方向の指示の必用（實情適合の適正）
ハ、自主的革新が出來なければ業者自滅する（國家の損失）

以上の理念に對する報國の實踐○項
1、正當なる利潤による經營の提唱（公益商業の實踐）
2、生活配給消費各階一時の整備
1、配給機構の整備
2、生産規正
3消費規正
3、全配給業者組織化の提唱
1、異業主間の連繫整備
2、地區的連繫整備
4、必用物資材確保への協力提唱
1必用品々目及數量の査定
2準必需品々目及數量の査定
3嗜好品の範圍限度への考察

吸入用酸素純度99%
モノサシ　ハカリ　マス
体温器　寒暖計
寫眞機材料一式
秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス（カリ トリヲ　タマイト トリカヒ）
勝内秤店　電話四〇番

タンス・鏡臺　御婚禮調度品を　取揃へました　是非
和久井屋へ　御越下さい　平市一丁目【電話四〇五番】

カリエス　高血壓に特効
二葉滋器治療所　平市大町　電話一九三番

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市南田町銀座街
東邦タイプライター代理店　東邦タイピスト發成所
森藤　電話三七〇番　振替仙臺五一〇一番
【森藤事務用器商會】

コーライト
木炭・豆炭・コークスノ代用燃料
二菱コーライト　ヲ御奬メ申上マス
特長……火力强ク、火持チヨク、木炭ノ半値、御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛治用、一俵（五〇キロ）カラ配達致シマス
ドウゾ御注文下サイ
昭和十五年六月
平市田町二一
阿部石炭商店　電話一三七番

銃後の皆樣に謹呈
一日のサービスを
東利品
ミカワマジック
平マーケット
電七〇

産科・婦人科
平市田町
◎入院隨時
井坂醫院　電話五五九番

入院自炊の便あり
耳鼻咽喉科
大和田醫院　平市南町（電話一〇七番）

美味で滋養に富み安價で便利な國策に添ふ理想的調味料を
御愛用願ひます知らず〳〵に丈夫になる
天與の食品　商標　印　しの素
滋養調味料
一、原料　本品は太平洋の新鮮なる魚を加工し之を乾燥機にて十二分に火力濕乾製粉したものです化學的の調味料でなく天與の食料品であります。
一、特長　本品は最も安價にして少量で即席にダシが良く出て滋養に富み御便利ですから經濟上にも体位向上にも總てに適當な食品です。
一、用法　味噌汁には水一升量に付約三匁、味付御飯には米一升に付約五匁、野菜色々の味付等には十人前に付約四匁、又溫い御飯、澁物等に振りかけて召上るも格別です、特にお子樣方の御飯には是非御用ひ下さい、其の他總ての味付に御使用願ひます。此の分量は標準ですから味のお好みにより御加減下さい、大量炊事の場合は約半分で充分です。
一、保存　濕氣を帶びないやう罐等に入れ置いて美味しく召しつて下さい。
一、注意　他に類似品がありますから商標に御注意　印を御愛用願ひます。
特約店　平市五丁目　武子屋　小名濱町横町　伊藤商店
四倉町　面川商店　大浦村信用組合
製造販賣元　㊟一袋廿錢　今井商店
福島縣四倉港
電話一二八番　振替東京一三五六三〇番　四倉局私書函第二號
宮城縣塩釜町築港　今井商店鹽釜出張所　電話二五八番
体位向上のため是非御使用下さい

外科　一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局通り）
上田外科醫院　院長　上田耕作　電話一二九番